

平成24年第1回定例会 施政方針に対する代表質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 自由民主党 (森田 憲二)	1	学校教育について	① 冷房化の実施と共に、グリーンカーテン等 児童・生徒に育てる楽しみを味わわせる教育は
	2	学校施設について	① 平成24年度、小・中学校校舎・体育館の耐震 化が完了とのことだが、避難場所として、情報収 集・発信等の整備が必要と考えるが。 ② 「学校規模等のあり方検討委員会」の意見だけ ではなく、新設校(小中一貫校)の考えは ③ 第八小学校 芝生化実施後の管理体制は
	3	児童・生徒の学力向 上について	① 情報通信技術の活用の中に防災・福祉教育等は ② 基礎的・基本的な学力定着の重視と児童・生徒 の個性が育つ環境づくりは、どのようにマッチさ せるのか。
	4	学校給食施設につい て	① 候補地決定までの経過と規模は ② 給食施設の運営・管理は
	5	社会教育について	① 郷土博物館事業として、文化協会・市民グルー プ等の参加による月毎のイベント開催は ② (仮称)東大和郷土美術園 整備と開園に備え 管理・運営等準備をしておく必要性は
	6	体育施設について	① 地域スポーツクラブとはどのようなものなの か。 ② 市民のスポーツ・レクリエーション活動の支援 とは 毎年11月に開催されているスポーツ・レクリ エーション大会との関係、また、参加者数が少な く感じているが。 ③ 国体の開催に、昨年8月実行委員会が発足 リハーサル大会、本大会に向けての準備は ④ 小中学生の国体競技見学参加は ⑤ 気運醸成に向けての事業は
	7	図書館事業について	① 相互利用協定市以外の貸出については(観光事 業を推進していくことで、利用者があった場合 等)
	8	青少年の健全育成に ついて	① 青少年が健やかに育つ環境づくりとは
	9	保育について	① 待機児童の解消は
	10	学童保育について	① 放課後子ども教室を同時に推進していく考え は
	11	高齢者福祉について	① 「シルバー交番」事業とは どのような準備を進めるのか。

1 2	保健事業について	① 特定不妊治療助成制度の助成対象を不育症の治療まで
1 3	介護保険事業について	① 介護予防リーダーの今後の取り組みは
1 4	国民健康保険事業について	① 滞納者数の引き下げの方策は ② ジェネリック医薬品利用推進の方策は
1 5	後期高齢者医療事業について	① 国の制度廃止動向の情報収集は
1 6	観光事業について	① 市内外から迎えるためには、足を止める休憩施設等の整備・観光ボランティアの育成等は ② 観光マップの作成は、過去・現在・未来へと一貫性のあるもので。また、総合観光事業課の創設は
1 7	農・商業について	① 地産・地消の推進は ② 商店会設置の街路灯を市が管理できないか。 ③ イベント事業支援は、簡素な手続きを ④ 認定農業者数の増大に向けた具体的な取り組みは
1 8	防災について	① 個別支援計画の全地域実施は ② 市道1・6号線・大和通りの溢水対策（南街）
1 9	交通対策事業について	① コミュニティバス ルート・時間の変更は ② オンデマンド交通 採用の可能性は
2 0	緑地等の保全について	① 動植物の積極的な保護に向けた具体策は ② 学校教育・社会教育への活用は
2 1	環境問題について	① 放射線量の毎日の測定と市民に公表は
2 2	ごみ問題について	① 減量化の推進、リサイクル事業の推進は ② 低炭素型社会として当市が目指す姿は
2 3	都市間交流について	① 民間レベルでの交流に対して、どのような支援が考えられるか。
2 4	自治会の活性化について	① 有償ボランティア制度の創設は ② 市職員の地域担当制実施について
2 5	平和事業について	① 慰霊祭との整合性は
2 6	行財政運営について	① 就任10カ月での市政運営はどのように転換してきたのか。 ② 市民協働のもと、夢のあるまちづくりの推進と二元代表制の持つ役割について
2 7	行政改革について	① やまとスタンプでの給食費の支払いは

2. 公明党 (御殿谷一彦)	1	市長の現状認識	① 副市長が1年間不在であったことの影響 ② 3市共同資源化事業の進捗
	2	行財政運営	① 第4次行政改革大綱の取り組みの中で、経常収支比率の90%を目標にしているが、歳入が厳しい中どのように取り組むのか。 ② 財政健全化判断比率の健全性維持の対策 ③ 複式簿記・発生主義会計への取り組み ④ ICTの市の業務への更なる活用推進 ⑤ 職員のスキル・モチベーションの向上策
	3	防災	① 災害時に被災者を支援するシステムの導入 ② 防災対策への女性の役割重視 ア 防災検討に、女性の参画、意見の取り入れ、女性の役割重視 ③ 学校の防災拠点機能の推進 ④ 雨水浸透ます・貯留槽設置の積極的推進
	4	学校教育	① 小中学校の適正規模、適正配置に対する見直し ア スケジュール イ 市長の考える適正規模、適正配置とは ② ICT、デジタル機器を活用した教育への取り組み ③ 特別支援教育の充実
	5	社会教育	① 市民大学講座への市民の参加を積極的に推進 ② 図書館事業の充実 ア 図書館への電子書籍導入と開館日の拡大
	6	福祉	① 総合福祉センターへの取り組み ア サービス内容 イ 施設建設・運営の方式 ② 多様な保育サービスの利用促進 ③ 高齢者ほっと支援センター機能の充実 ④ 介護支援ボランティア制度の充実 ⑤ がん対策、受診率向上
	7	観光事業、農業、商業	① 市の形をどのように考えているのか。 ア 何を軸にして市を発展安定させていくのか。
	8	交通対策	① 交通不便地域に対する移動手段確保の対策を ア ちよこバスの拡充、オンデマンド交通の整備 ② 自転車交通対策の推進 ア 交通対策と自転車駐輪場の早期整備
3. 民主党 (大后 治雄)	1	市政運営の基本姿勢について	① 施策の優先順位は。また、独自施策は何か。 ② 民間委託を進めるお考えはあるか。 ③ 広域行政を進めるお考えはあるか。
	2	学校教育について	① 学校規模等のあり方検討委員会の調査・検討の詳細、方向性は。また、それを受けて最終的な結論を出す時期は。 ② 児童・生徒の学力向上について、現状と今後の具体策は。

	3	社会教育について	<p>③ 学校給食施設の整備について、桜が丘市民広場の利用団体との話し合いの進捗状況を伺う。また、開設の時期を伺う。</p> <p>① 郷土博物館の活用の具体的なイメージは。</p> <p>② (仮称) 東大和郷土美術園の工程表を示して戴きたい。</p> <p>③ 第68回国体運営の進捗状況と今後の取り組みを伺う。</p> <p>④ (仮称) 市民大学講座の開設を準備するとあるが、講座の内容、講師や開催日数等の詳細を伺う。</p> <p>⑤ 図書館事業について、デジタル録音図書・デジタル図書の取り扱い状況と、今後の取り組みを伺う。</p>
	4	児童福祉について	① ショートステイ事業の利用と市内養育協力員の現状は。
	5	学童保育について	① (仮称) 学童保育所桜が丘クラブの詳細は。
	6	障害者福祉について	① 障害者就労支援事業について、就労支援員を増員し更なる充実に努めるとあるが、具体的な取り組みを伺う。
	7	介護保険事業について	① 介護予防リーダー養成講座の今後の開催予定を伺う。
	8	観光事業について	① 具体策を伺う。また、今までの枠にとらわれない地域に愛される事業を進めるとあるが、「今までの枠」とは何か。
	9	農業について	① 認定農業者支援事業とボランティアの育成の詳細を伺う。
	10	交通安全対策について	① 放置自転車対策に関して、有料化を視野に入れての検討がなされるのか伺う。
	11	ごみ問題について	① リサイクル事業の推進の具体的な内容を伺う。
	12	都市間交流について	① 喜多方市と友好都市の締結をし、今まで山都町と築いてきた友好関係をさらに推進するとあるが、具体策を伺う。
	13	行政改革について	① 税の納期内納付率向上の障害は何か。
4. 日本共産党 (西川 洋一)	1	市民の暮らしと市財政	<p>① 市民所得は年々減少し、暮らし向きが苦しくなっている状況です。市長施政方針では、このことについて触れていません。地方自治体は住民の福祉の増進を図ることが基本であり、市民の暮らし・営業の実態を把握し、施策を進めなければなりません。市民所得の長年にわたる減少、事業者の売り上げ減少による市民の暮らしについての市長の認識を伺います。</p> <p>② 市財政運営について、財政調整基金が一定の積み立てが出来ましたと述べ、その要因を「歳出削減等の努力」と評価していますが、認識が一面的</p>

			<p>です。</p> <p>ア 地方自治体の財政は、国の地方財政計画により大きく左右されています。地方自治は憲法の柱の一つであり、その立場から、国が地方自治を保障する財源を地方自治体に割り当てるよう市長としても要求すべきですが、いかがですか。</p> <p>イ 施政方針では、国の財政運営は逼迫していると評価し、国際的動向によっては、市財政に影響が出るとしています。国の財政がなぜ逼迫したのか、無駄遣いはないのか等を究明すべく、国の財政運営について、今後も発言していきますか。</p> <p>ウ 今年度予算は、尾崎市長が自ら立案する予算です。臨時財政対策債を市民の借金として批判をし、借入しないとしてきましたが、24年度予算では限度額いっぱい借りています。これまでの発言を反省し、撤回したということなのでしょうか。</p> <p>③ 市の歳入確保について、市民からの収納について綿密な対策を述べています。また、自転車等駐車場の有料化を視野に入れた計画を作るとしています。一方で、市の独自財源である道路占用料について、税負担能力のある大企業に軽減を行いました。これでは市民にきつく、大企業にやさしい市政運営と言えるのではないのでしょうか。</p> <p>① この間、職員の大幅削減と非正規職員への置き換え、大幅な賃金カットが行われてきました。東日本大震災の災害復興にあたって、自ら被災し、困難を抱える中で、執務にあたっている自治体職員の姿が報道されています。削減し続けてきた市職員の体制についても、市民の命と暮らしを守るために適切な職員数が確保されているのかどうか、見直すとともに、待遇改善が必要です。見解を伺います。</p> <p>① 観光事業を立ち上げ、グルメコンテストなどのイベントを推進するとしています。その成功を願います。</p> <p>② 福島第一原子力発電所事故による放射能の影響により、東大和市の農業に多大な影響をもたらしています。いま起きている大問題に、市として独自の対策をとるべきです。いかがでしょうか。</p> <p>① 4年以内にマグニチュード7クラスの首都直下型地震が70%の確率で発生するという試算を東京大学地震研究所の研究チームがまとめた、との読売新聞報道がされました。市長の防災意識及び福祉防災のまちづくりについてお聞かせください。</p> <p>② ちよこバスの利便性を向上させるため、地域公共交通会議を設置することにしています。利用しにくくなった現状をどう改善するのか、市として基本となる考え方を示すことが必要です。いかが</p>
	2	職員の待遇改善	
	3	産業の振興	
	4	福祉防災のまちづくり	

			<p>ですか。</p> <p>③ 狭山丘陵を保全することは市の一貫した方針です。芋窪緑地、狭山緑地ともに公有地化を進めてきました。緑地の保全について、計画を縮小せずに進めることを求めます。いかがでしょうか。</p> <p>④ 総合福祉センターの早期建設を進めるよう要望します。いかがですか。</p> <p>⑤ 保育園の待機児解消については、保育計画の実施だけでは間に合いません。保育に欠ける児童を保育する市の責任を果たすべきですがいかがですか。</p>
	5	教育	<p>① 少人数学級実施は今日では全国的な流れとなっています。子どもたちの教育環境改善の要です。市長の見解をお聞かせください。</p> <p>② 学校給食について 給食施設の整備について、桜が丘市民広場への建設を進めているが、給食のあり方、市民の運動施設確保のことなど市民のあいだにいろいろな意見があります。市は、給食施設整備についての検討内容を市民に明らかにして進めるべきです。 東大和市には運動場は全く少ない状況ですので、これ以上縮小すべきではありませんがいかがですか。</p> <p>③ スポーツ祭東京2013にむけては、スポーツ環境の整備にこそ力を注ぐべきです。東大和市には運動場は全く少ない状況ですので、これ以上縮小すべきではありませんがいかがですか。</p>
	6	原発について	<p>① 原子力発電、エネルギー政策について、地方自治体も発言していくべきです。東京電力と国に原発事故の責任を明確にさせ、全面的に損害賠償させることを市としても強く求めるべきですが、市長の対応をお聞かせください。</p> <p>② 福島原発事故は、市民のいのちにかかわる重大な影響を与えています。市独自に徹底した除染と食の安全を確保する対策が必要です。いかがですか。</p> <p>③ 市としても、自然再生エネルギーの導入施策を進めることを求めます。</p>
	7	平和・核兵器廃絶	<p>① 平和であることは、政治の基本です。「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを国も地方自治体も目指すべきです。平和市長会にも加盟している市の市長として見解をお聞かせください。</p>
5. やまとみどり (中野志乃夫)	1	環境対策について	<p>① 放射能汚染対策のための食品検査機器の導入に触れていないが、どのように考えているのか。</p> <p>② 経費削減の意味合いの方が強いがPPSの導入についてはどうなったのか。</p> <p>③ 3市共同資源物処理施設の白紙撤回を踏まえたリサイクル事業についてはどのように考えているか。</p>

	2	農業対策について	環境対策と重なるが、農産物の安全性をPRするためにも食品検査機器は必要ではないか。
	3	商工業対策について	(仮称) 東大和市産業振興基本計画についても国に「特区申請」をだす位の大胆な構想や発想を持って検討すべきではないか。
	4	防犯対策について	東大和市駅前の交番設置のための本格的検討が必要ではないか。
	5	緑地対策について	芋窪の墓地建設問題は緑地を守れるのか、象徴的な問題と思う。そのための検討と覚悟は。
	6	市民サービスについて	土曜開庁や夜間窓口開設は費用対効果の検討も踏まえて考えるべきではないか。
	7	学校給食施設問題について	桜が丘市民広場が止むを得ないとしても、少年野球や少年サッカーなどの深刻なグラウンド不足問題も同時に考えるべきではないか。
6. 無所属 (実川 圭子)	1	学校教育について	児童、生徒が自信を持って意欲的に学習に取り組めるよう人員配置と教育ボランティアの活用を望みますが、いかがでしょうか。
	2	防災について	被災者の受け入れ態勢の強化と東大和市民が市外に避難できる先の確保について
	3	環境について	温暖化対策と電力の節約のためにPPS（特定規模電気事業者）の導入と太陽光発電の補助金導入を検討してはいかがでしょうか。
	4	男女共同参画について	男女が平等で共に参画できる社会の実現に向けて、庁舎内ではどのように進めていこうとしているのでしょうか。
	5	協働のまちづくりについて	市民との協働事業を進めるためにも、自治基本条例策定に向けて動き出す必要があると考えますが、いかがでしょうか。